1
January 2015
No.705

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 年頭所感（熊本県歯科医師会会長　浦田 健二）…… 3
- 理事会報告…… 4
- 年頭所感（日本歯科医師会会長　大久保 満男）…… 7
- 学院報告 …… 8
- 年男・年女インタビュー…… 9
- 委員会報告 …… 15
  （医療対策、社会保険、学術、学校歯科）
- 郡市会報告 …… 19
  （人吉市、玉名郡市、八代）
- つどい…… 21
- 新入会員…… 22
- 会務報告…… 23
- お知らせ…… 25

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

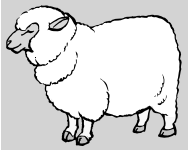
新年、明けましておめでとうございます。

羊に関してのうんちくをひとつ。羊を日本国内で本格的に飼育を始めたのは1875年大久保利通だそうです。（from Wikipedia）

今年もよろSheepお願い致します（寒！）。

（T.S）

年頭所感



熊本県歯科医師会会長　浦　田　健　二

新年明けましておめでとう御座います。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も、役職員並びに会員の皆様方のご協力、ご支援のおかげをもちまして、目標以上の成果を上げることが出来ました。この場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。医療連携を大目標として一年取り組んで参りましたが、がん連携では、がん診療連携拠点病院を中心に熊本県内22箇所の病院と連携の合意書を取り交わしており、昨年末までに800名に迫る紹介を戴いております。また、回復期病院との連携では、２つのリハビリテーション病院と連携し、既に200名を超える入院中の患者さんへの訪問歯科診療を行っております。当初の熊本市の会員のご協力に加えて、16キロ圏内の郡市区の会員の皆様まで拡大出来たことを心強よく思いますし、今後更に地区、病院数を広げて行きたいと思います。これらの取り組みを進めることは、口腔機能の回復が全身のリハビリテーションの支援となり、回復期の次のステージ、在宅医療に歯科からの支援が継続出来ることに繋がると信じております。さらに、糖尿病連携や周産期連携もご存知の通り、糖尿病や低体重児出産が歯周疾患と深い関わりがあることから、内科や産科、そして医師会や大学、行政と幅広い連携をはかり、県民の健康づくりに寄与して参りたいと思います。

今年は、昨年末に確定した地域医療介護総合確保基金、いわゆる基金の事業に対応して行くことになります。この事業は、最低３年は継続されるとは言え、今年度の事業期間は３ヶ月しかありませんので、会員の皆様にはご迷惑をお掛けする事が多々有る矢も知れませんが、よろしくお願い致します。特に会員の皆様に関係が有る事業は、在宅歯科診療器材整備事業で、在宅歯科診療の器材整備に対して二分の一の補助金が支給される事業です。より多くの地域で、多くの歯科医が在宅歯科医療に従事できるための補助事業です。予算に限りもありますし、期間も短いので色々とご希望に添えないかも知れませんが、次年度以降に繋がるよう多くの皆様に申請をして頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

ここ数年で、歯科医療の体制は、大きく進化（敢て進化と云わせて頂きます）していると思います。この流れに熊本県歯科医師会として、今まで以上に真剣に取り組んで行き、会員の皆様に少しでも多くの好い結果を残せるように微力では有りますが努力して参りますので、今年もどうぞ宜しくお願い致します。最後になりますが、今年が会員の皆様にとりまして良い年となりますように祈念して新年のご挨拶とさせて頂きます。

理事会報告

どうすべきかではなく、どうあるべきか

― 第19回理事会 ―

12月24日（水）午後７時より県歯会館 第１会議室において浦田会長他全役員、伊藤学院長出席のもと、議長を浦田会長、議事録署名人を久々山・西野両監事、浦田会長として第19回理事会が開催された。

１．開会：小島副会長

２．挨拶：浦田会長

本日は平成26年最後の理事会となります。この一年はいろいろと進捗が見られて本当に有意義な年であったと思います。これもひとえに役職員の皆様のおかげだと思います。改めて感謝申し上げます。特に今年は大きな目標として医科歯科医療連携の推進を掲げて始動しました。おかげで様々な連携事業がスムーズに進んでおります。これから先、問題もございますがひとつひとつクリアしながら前進していきたいと思います。また、年末になりましていわゆる基金の決定がなされて年明け早々からその事業に取り組んでいくこととなりました。このようにいろいろと対応していくべき問題が山積しておりますが、ただただ事業を推し進めるのではなくてしっかりと頭の中で整理していく必要があると思います。一番重要なのはどうすべきかではなく、どうあるべきかだと思います。それを肝に命じて考えていかなければならないと思っています。経済学者ケインズの著書『我が若き日の信念』のなかに“It is much more important how to be rather than how to do.”という一節があります。どうすべきかよりむしろどうあるべきかが重要なのだという意味ですが、どう行い行動するかより、どういう人間であるかが重要だということです。歯科医療がどうあるべきかが重要であって、どうするかは次の問題であるということだと思います。歯科医師会がどうあるべきかが重要であって、我々がどう対応していくかはそれを根本にしてのことであるということです。もちろん、どちらも重要なのですが、どうするかということにばかり流されずにどうあるべきなのかということを常に頭や心の中で考え感じながら行動していかないと、知らないうちにただただ事業に流されて、対策、対策で流されてしまうことになります。そういうことを今年の終わりに当り、今一度考えて新年を迎えたいと思います。この一年の皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、来年が益々皆様にとって良い年となりますことをご祈念申し上げまして今年の理事会最後の挨拶とさせていただきます。

３．平成26年度会務報告：

（自：11月21日～至：12月18日）

本会総務：理事会、常務理事会、「九州」「中国・四国」地区役員連絡協議会

学　　術：日歯生涯研修ＤＶＤセミナー及び会員発表

社会保険：近県社会保険担当者会議

地域保健：全国健康保険協会・熊本支部との打ち合わせ

広　　報：テレメッセ打ち合わせ

学校歯科：歯及び口腔の健康づくり指導

医療対策：医療相談苦情事例報告

センター・介護：県庁と新財政支援制度（基金）の打ち合わせ

総務・厚生・医療管理：がん連携運営説明会

学　　院：熊歯衛祭（学院文化祭）

国保組合：理事会

以上、各担当役員より報告がなされた。

４．報告事項：

１．退会会員

・故　工藤 喜孝会員（終身会員／玉名

郡市）97歳　平成26年12月３日ご逝去

２．名義後援使用依頼

・熊本糖尿病ネットワーク研究会in菊池圏域／熊本糖尿病ネットワーク研究会

３．平成26年度臨時代議員会及び会員懇談会の会報掲載内容

代議員会は公開となっており傍聴席を用意している旨を追加記載して会報１月号に掲載する。

４．日歯会長予備選挙立候補予定者太田謙司先生の個人演説会

日歯会長予備選挙に出馬表明された太田氏（大阪府会長）は九州各県を遊説、本人から１月27日（火）は熊本で立候補演説の申し出があったことを受けて、午後７時より本会会館で個人演説会を開催することを決定し、その内容を今月末発送文書にて会員に通知する。

５．熊本自営会の施設入所者の歯科検診と講話

11月16日（日）に実施した熊本自営会ＳＳＴ（生活技能訓練）講演会及び歯科健診のことが熊本自営会の広報誌「熊本自営会だより」に掲載された。

６．後期高齢者歯科口腔健康診査

平成28年度より開始を予定している後期高齢者口腔健康診査に係る事業について、健診単価を広域連合と協議している。単価は3,900円に設定しなければ会員からの理解が得られないと思われ、強く要望する。この事業の内容は各郡市会長専務理事連絡会議で説明する。

７．事業企画書

○職場でスモールチェンジ！生活歯援プログラムの「協会けんぽでのモデル事業」

協会けんぽの職員20名に対し無料で生活歯援プログラムを実施して概要を理解してもらう事業を行う。予算措置は、「標準的な成人歯科健診」の事業費から充当する。

８．日本歯科医師会災害歯科コーディネーター研修会の出席者

小島副会長と伊藤学院長が出席する。

９．新入会員研修会日程（案）

１月31日（土）午後４時より開催する。

10．委員会事業企画（案）

・学術委員会：『第19回熊本県歯科医学大会』（３月８日）

11．事業実施報告

・学校歯科委員会：『平成26年度熊本県学校保健推進大会』（11月15日）

・学術委員会：『日歯生涯研修事業ＤＶＤセミナー＆会員発表』（11月30日）

12．会計11月末現況

13．その他

○歯科医院の名称に関する予防策（情報提供）

歯科医院の名称を商標登録して使用料を請求する業者がいることから、今後は特許庁のホームページで商標権等を事前に確認するなどの予防策が必要であり、その情報を会員にも引き続き提供する。

５．連絡事項：

1. １月行事予定

６．承認事項：

１．新入会員の承認〔承認〕

西坂　文（第１種）１名、坂口　賢（第２種）計２名の入会を承認した。

※26年度入会状況（12月末予定）：第１種・17名、第２種・７名、第３種・13名

２．会員の郡市間異動の承認〔承認〕

月精 秀和（第１種）の郡市間移動を承認した。

３．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼〔承認〕

・熊本県社会福祉審議会委員／熊本県健康福祉部健康福祉政策課

小島 博文　副会長

任期：平成27年１月１日～平成29年12月31日

・くまもと21ヘルスプラン推進委員会委員／熊本県健康福祉部健康づくり推進課

田上 大輔　常務理事

任期：委嘱された日～平成28年3月31日

4．名義後援使用依頼〔承認〕
・日本医療マネジメント学会第14回九州・山口連合大会／日本医療マネジメント学会
・熊本小児歯科懇話会第71回例会／熊本小児歯科懇話会

5．熊本県老人クラブ連合会からの講師依頼〔承認〕
宮坂 圭太　副会長を推薦する。

6．会員の会費・負担金減免申請の承認〔承認〕
１名の減免申請を承認した。

7．議題：

1．在宅歯科診療器材整備事業に係る会員への案内文書〔承認〕
事業予算は今月の熊本県議会定例会で承認されたことから、申込期限を１月20日(火）とした器材申込文書（案）を今月末に会員に通知することを決定した。

2．定款並びに諸規則及び学則の一部改正(案)〔承認〕
一部改正（案）について原案通り承認し、３月28日開催の臨時代議員に議案として上程する。

3．平成26年度臨時代議員会の議事〔承認〕
原案どおり承認し、３月28日開催の臨時代議員の議事とする。

4．平成27年度九州各県歯科医療安全対策担当者会及び専務理事会の開催日時〔承認〕
平成27年10月17日(土）歯科医療安全対策担当者会
平成28年１月９日(土）専務理事会

5．定款規則集の作成〔承認〕
現執行部の任期中に発行することとし、来年度予算に計上する。

6．会館及び学院施設の長期火災保険（５年）の契約更改〔承認〕
本会会館は損保ジャパン日本興亜と契約することを決定した。学院（本館及び増築部分）は学院本館の保険金額を３億円にして、学院運営審議会による決定を踏まえ、損保ジャパン日本興亜と契約することを決定した。なお、本会会館の地震危険補償特約は中断することとした。

7．熊本市より子ども医療費助成制度に係る市外医療機関への「現物給付」に係る会員への通知〔承認〕
今月末に熊本市以外の会員に送付する。また、１月の各郡市会長専務理事連絡会議に報告事項として説明することとした。

8．協議事項：

1．九地連協議会の提出協議題
提出協議題があれば事務局まで連絡をすることとした。

2．平成26年度中規模県歯科医師会連合会の提出協議題
提出協議題があれば事務局まで連絡をすることとした。

3．歯槽骨骨密度解析
財政支援制度アイデアの一つである歯槽骨の骨密度解析ソフトウェア活用について、全額補助であれば問題ないが１／２負担の場合、会員の受け入れが困難である。他県の状況を情報収集しながらこの事業に取り組む。

4．その他
○会員発送物の中の県歯発刊文書のペーパレス化
理事及び委員のペーパレス化については１月中旬より実施するが、当面はメール配信と郵送の二本立てで行う。

9．監事講評：
久々山監事より、現在様々な医科歯科医療連携が進められているが、我々歯科の対応が充分でないために医科主導に陥ってしまうことのないようしっかりと対処して欲しいと執行部に対して要望があった。

10．閉会：宮坂副会長

（広報　加藤　久雄）

年頭所感

日本歯科医師会会長　大久保　満　男

新年あけましておめでとうございます。先生方におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

すでにご承知のことと存じますが、私は、この６月の代議員会をもって日本歯科医師会会長職を辞することと致しました。思えば、平成18年４月に先生方のご支持を得て会長に就任して以来、９年の長きにわたって、この重責を何とか果たさせていただきましたことは、ただただ感謝の一語を申し上げるばかりであります。

就任時の平成18年は、歯科界にとって最も厳しい診療報酬改定が行われた年でありました。まずこの改定内容を何とか是正することに全力を尽くすべきとの覚悟で会務を始めたことを、今もはっきりと覚えております。さらに、社会保障抑制策の下で２兆５千億円から全く伸びなかった歯科医療費を何とか増加させることも、同時に取り組むべき大きな課題であると考えました。

ただ、18年度改定も、さらに歯科医療費の増加策も、歯科医師会の単なる「欲張り」と受け止められれば、それは到底実現できないということをはっきりと自覚しておりました。

それは、日歯会長の前に務めた日歯連盟の会長として、連盟改革を実施する中、私達の考えに国会議員から必ず言われた言葉は、「それはどのように国民の健康に貢献するのか」でした。つまり、ただ「これを頼みます」では、もはや我々の考えを具体的な国の政策に乗せることはできないという、考えれば当たり前のことですが、私の考え方の中心に「国民のための歯科医療」という明確な旗を掲げることが、最も大切な我々の政策の根底であり、それが結果として歯科診療所の経営の安定化につながることだと明確に自覚を致しました。これを、日歯の会長に就任してからの、あらゆる考え方の基盤として参りました。

しかし、このような政策は、即席的に完了するものではありません。時間と忍耐とを必要とし、さらにそれに負けないような知恵を絞り続ける、ある意味辛い道であったと、今振り返ってそう思います。それでもその道を歩くべきだと我々を励ましてくれたのは、その時から次々と提出された「口腔と全身の健康」に関わるコホート研究でした。これがなければ、国民に訴える手段の核がなく、我々は途中で途方に暮れていたのではないかと思います。

さらに、もう一つ掲げた歯科医療の目的は「食」でした。我々は平素の歯科医療を行う時に、つい歯科疾患の治療に神経を使うあまり、勿論それは大切なことであることは間違いのないことですが、その最終の目的は何なのか。それは、その人が生涯にわたって自分の口から食べられる人生を送ることではないのかと。

このような政策を、多くの会員が共通の価値とし、日々の診療に従事し、さらに地域歯科医師会の活動に参加していただくことで、明らかに報道機関の姿勢に変化が起きたと思います。テレビや新聞で歯科医療の大切さが多く報じられ、そのための番組が作られたりしました。

さて、昨年の歯科医療費は２兆７千億円を超えました。この要因の詳細な分析はまだですが、一つだけ明らかなことは、患者数の増加です。口の中の病気は命とほとんど関係なく、少し酷くなったら行けば良い。そうではなくて、「自分の口で食べられる幸せのために、酷くなる前に歯科医院を訪れよう」。こんな考えが、国民の中に当たり前のように広がっていく、今年がそんな年であったらと願っております。

会長として、これが最後の新年のご挨拶となりますが、６月までは全力で会長職を務めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

学院報告

LOVE&TEETH3！

― 第３回熊歯衛祭 ―

11月23日（日）午前11時より熊本歯科衛生士専門学院内で熊歯衛祭（ゆうしえいさい）が開催された。本イベントは学生会主催で３年前から開催されており、私は今回初めて取材に行くこととなった。（県歯会館に隣接しているのに学院に足を踏み入れたのも初！）。

まず、校庭で焼きそば、カレーなど調理する出店の食欲をそそられる校庭内の匂いで出迎えられ、そこを横目に受付にて「取材」の申し出をすると大勢の学生さんからの想定外のおもてなしを受け、あっけにとられる中、イベント取材と学院見学を兼ねて施設内を散策した。

２階実習室の「歯磨き体験と歯の型取りコーナー」では訪れた方の口腔内を染め出し、ひとりひとりにブラッシング指導が位相差顕微鏡も用いて入念に行われ、また歯の型取りコーナーでは希望者のみ口腔内の印象採得後、顎態模型にしてプレゼント、口腔内はちょっと…言う方には親指の印象を採得しそれを模型にしてプレゼントしていた。

１階口腔保健センターでは「お口のエステ」としてボランティアDrが常駐した中、センタースタッフによるPTC、フッ化物洗口が行われていた。PTCは学院生がアシストに付き、先輩の手技を見学できるという、まさに実益も兼ねているというものであった。

午後からは『ミス熊歯科』が盛大に行われた。投票で本年度のイケてる学院生を選ぶ企画であるが、ちまたの学園祭で見かけられる『ミスキャンパス』を選ぶのと少々違って、各学年から選抜された合計21名の学院生がトーク抜群のMCや会場からの質問に答えたり、持ち芸を披露したり、患者応対のデモを行った後、Best３を選ぶという内輪ネタの濃い内容ではあったものの、見学した一般の方々も彼女たちのエネルギッシュで個性的な振舞いに会場内は爆笑と熱気に終始包まれていた。

爆笑と熱気の「ミス熊歯科」

歯磨き体験

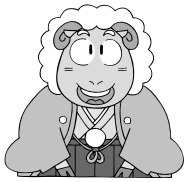
そして撤収が始まった中、学生会会長に『今回準備にあたって大変だったのは食物を提供するために授業では習っていたが様々な規制をクリアしないといけなかったことです。来年も一番大変準備になると思うが頑張って欲しい』と感想を聞くことができた。

そして伊藤学院長より『本イベントは学院生のみで全て行い、毎年このような感じで盛り上がっている。この勢いで就職先を彼女たち自身が先導していく意識を持ち続けてもらいたい。』とのコメントを頂いた。

確かに今回の取材と院内に掲示してあった学院旅行や体育祭の写真を見た限り、この学院時代のパワーはきっと勤務先や患者さんにプラスのパワーを与えてくれると確信できる一日となった。

（広報　坂田　輝之）

年男・年女インタビュー



①氏名（敬称略）
②生年月日
③今年の抱負
④昨年のニュース（出来事）の中で、どんな事が印象に残りましたか
⑤いま関心があること
⑥あなたの健康法

無病息災

①中川　博公
②昭和６年６月５日
③無病息災
　家内安全
④火山列島爆発
⑤ダーウィンが2015年９月
　人類は○○すると云った事が気がかりです
⑥2011年５月27日より早朝５時30分に菊池神社迄歩いて参拝するのが日課です。
　今日で20027日になりました。

難しく考えずのんきにすごす

①森　　一
②昭和６年11月１日
③健康
④日本人のノーベル賞
⑤親元を離れた孫が、楽しい大学生活を送ってほしいと思っている。
⑥難しく考えず、のんきにすごす

体調回復

①野村　雄幸
②昭和６年11月１日
③体調を回復し適度な運動、旅行をしたい
④●「エボラ出血熱」への防疫態勢●「イスラム国」入国を志した学生とその背後
　●自然災害の多発　●事件、事故による人命の軽視
⑤「危険ドラッグ」蔓延防止
⑥静かな名曲を静聴する

家事をやる

①境　　義紹
②昭和18年２月14日
③家事をやる
④増税
⑤単純な義歯
⑥節酒

糖尿病予備軍からの脱却

①牧野　敬美
②昭和18年５月２日
③糖尿病予備群を早く抜け出たい
④県歯の健康診断で精密検査を指示され、糖尿病予備群と診断された
⑤健康のこと
⑥剣道と食事のバランス
　お酒は適度に毎日の飲酒は制限

食育を考える

①工藤　紘喜
②昭和18年６月25日
③目標の人生を生き抜くための準備期間を計画する
④葛西紀明とレジェンドの言葉
⑤●45年乗ってきた愛車を後、20年乗り続ける事
　●トヨタスポーツ800
⑥食育を考え週３回、ジムに通う事

健康第一

①武末　和貴
②昭和18年８月28日
③“健康第一”で大過なく一年を過ごす
④自然災害（広島の土砂災害、御嶽山の噴火、各地での大雨、白鳥村の地震など）の多さ!!阿蘇山も心配です!!
⑤何才迄、元気で仕事が出来るか？
⑥特にありませんが強いて言えば、家内に毎日“気合い”を入れられ緊張感を持って、日々の診療に専念しているのが健康法かも？（要するにボケ～ッとして毎日を暮らさない事!!）

平穏無事で一年を通す

①田崎　日出夫
②昭和18年９月４日
③健康平均寿命も過ぎ、体力、気力の衰えを感じます。
多くを望みませんが、平穏無事で一年を通すことが出来れば幸いです。
④多発する自然災害（集中豪雨、土砂くずれ、台風、地震、火山噴火等）
⑤少子高齢化の進む借金大国の日本、これからの未来は？
⑥特別なことは行っておりません。

自分なりに社会の役に立つ

①片山　幹夫
②昭和18年９月21日
③また今年一年健康に過ごせること。元気に仕事が出来て、自分なりに社会の役に立つこと。
④春の叙勲で旭日双光章を頂き、皇居へ参内し天皇陛下にお目にかかったこと。
⑤写真撮影：里山をテーマとしていますが、暇と金と才能がありませんので、なかなか上達しません。
⑥何事も「いい加減（好い加減）」を心がける。ということに最近気付きました。やり過ぎは体に悪い！

毎日つつがなく暮らす

①中津留　豊
②昭和18年10月21日
③不用品（がらくた類）を整理する。
④消費税増税（８％）
⑤口呼吸している自分を知り鼻呼吸の大切さを知りました。
病気予防（アレルギー疾患、膠原病、うつ病、腸疾患、ペリオ、ドライマウス、歯列不正）
⑥毎日つつがなく暮らすこと。

来世に向かって戦いを挑む

①菅原　　洋
②昭和18年11月５日
③・最後の挑戦として、全日本マスターズ陸上競技大会で３度目の頂点を目指したい。・九州百名山の87名山を踏波したので、残り13名山を極めたい。・熊歯野球部の学会優勝に邁進！
④学生時代に登山した御嶽山の噴火にショック、多数の犠牲者に合掌。
ＳＴＡＰ細胞、集団的自衛権と憲法９条
⑤終活。老兵は消えさるのではなく、いかに誠実、前進的な生きざまで、来世に向かって戦いを挑むか思考中!!
⑥成すがまま地球の表面を耕し、歩き、走り、“ふんころばし”で駆け巡り、喉が渇けば酒を呷る。脳が寂しい時は蜂楽万頭を食う。

ストレスをためない

①西口　和弘
②昭和30年１月４日
③家族５人が笑顔で過せれば何も言うことありません。
④若いスポーツ選手（特に羽生結弦）のメンタルの強さ、うらやましい限りです。
⑤娘の結婚です。
どなたかいい方がいらしたらご紹介下さい。
⑥ストレスをためない。
毎食の白米をさつま芋に代える。

世界が平和であるように

①中原　正弘
②昭和30年１月12日
③・一年間、健康で仕事ができると良いと思う。
・平凡ですが、世界が平和であるように。
④・色々な自然災害が多かったような一年だった。（地球全体が変動の時期なのかも）
・スポーツの世界で、日本人が活躍したこと。（テニス、ゴルフなど）
⑤・初孫の成長（平成26年８月誕生）。
・東京オリンピックへ向けての若手スポーツ選手の躍進。
⑥毎日のウォーキング、週１～２回のジム、月１～２回のゴルフ、年２～３回の奥さんとの旅行。

毎日のストレッチ

①梁　　瑞峰
②昭和30年１月12日
③・健康第一
・親孝行
・お世話になった方に感謝の気持ちを持ちたいと思っています。
④アベノミクス選挙は必要だったかまた消費税が上がった事と円安の影響で物価が高くなった事が印象に残りました。
⑤日本の将来・子供達の将来はどうなるかまた歯科については医療連携・在宅医療のこれからに関心があります。
⑥毎日ストレッチをしています。

笑門臨福

①許田　淵仁
②昭和30年２月１日
③笑門臨福
④円安と株高騰
⑤日本国の和平観
⑥pressureのない治療方針を確立しましょう。

今後の自分について見つめる

①永田　省藏
②昭和30年２月15日
③人生のターニングポイントを迎え、生き方や診療体系など今後の自分について見つめる１年としたい。
④錦織選手がテニス界で大活躍したこと
⑤日本列島の地殻変動のゆくえと欠損歯列のゆくえ
⑥悲しいかな何もありませんが、お陰様で歯科医師になって35年、無欠勤の健康体です。（今のところ）

毎日１時間のウォーキング

①中村　　悟
②昭和30年４月17日
③特にありません
④CO_2排出量が何の対策もとらなければ、後30年で温暖化が加速して止まらなくなる限界に達するというニュース
⑤・リニアモーターカーの開業
・日本の借金
⑥毎日１時間のウォーキング

チャレンジ精神を高めたい

①鬼塚　友文
②昭和30年５月20日
③健康に注意して、最近低下しているチャレンジ精神を高めていきたい。
④エボラウィルスの脅威。
アベノミクス。自然災害。息子が歯科医師になった事。
⑤消費税増税して景気が上向くのか。
よちよち歩き出した二人の孫。
⑥散歩
ストレスを貯めない。

やりたい事をやる

①田ノ上　輝
②昭和30年５月31日
③人間いつどうなるか分からないので、やりたい事をやりたい時にする。
④年末総選挙での自民党の圧勝。他の野党の不甲斐なさが安倍総理の暴走を加速させそう。
⑤二人の子供達がやっと社会人になり（そう）、これからどんな人生を歩むのか。
⑥仕事の後の（妻との）散歩
妻にストレスが無い事が私の安心、安全、健康に繋がる。

体重管理

①冨永　祐司
②昭和30年６月25日
③無事是貴人
④楽聖佐村河内。スタップ小保方。号泣野々村。
⑤各時代の『負け戦』における各級指揮官の行動、関心があります。『負け戦』の時こそ本来の人間性が出ます。
⑥体重管理

明るく、元気に、楽しく！

①渡辺　賢治
②昭和30年８月１日
③全力投球
④高倉健、菅原文太の死去
⑤次期日歯会長、日歯連盟会長
⑥明るく、元気に、楽しく！

マイペース、自然体

①萱野　至仁
②昭和30年９月３日
③マイペース、自然体でいこう。
④８月の広島土砂災害で八木地区が大きく報道されましたが、結婚してはじめて住んだ所でした。写し出された光景に息をのみ、自然のすさまじさを見せつけられた思いでした。
⑤子供らも成長したので現在の関心は４才のゴールデンレトリバー（♂）のこと。食が細く気をもみます。
⑥食事法　●たんぱく質、脂質を十分にとる。
●食後の血糖値をあげるものを極力たべない。

バイク、スポーツ復帰

①秋山　雅治
②昭和30年10月18日
③去年７月の左アキレス腱断裂以来、バイクに乗れてないので今年はバイク復帰して、中国地方ロングツーリングに行くこととスポーツ復帰すること。
④テニス錦織圭選手の世界での活躍、日本人でもやれるんだと思った。
29歳アメリカ人女性の安楽死、命とは何か、自分だけのものなのか、考えさせられた。
⑤去年、歯科医師となった長男が、どれだけ最先端医療を勉強するのか
それを私に還元してくれるのか？？
⑥朝、昼ガッツリ食べて、夜は少々のお酒と少ししか食べない。
夜12時までに寝る。年に一回は仕事、家族をすっかり忘れるほどの楽しい時間を作る。

自分の出来る範囲でやる

①玉置　孝信
②昭和30年11月６日
③家族が１年間無事でいられること。
孫の無事出産
④自然界での様々な異変
（地震、火山活動など）
⑤はたして景気回復がむかえられるのかどうか。
歯科界に明るい展望がくるかどうか。
⑥無理をせず、自分の出来る範囲でやること。

ハーフマラソン完走

①林　　秀樹
②昭和30年11月19日
③今年中にハーフマラソンが走れるようになりたい。
④テニス全米オープンで錦織圭選手が準優勝したこと

⑤錦織圭選手が４大大会グランドスラムで今年こそ優勝できるか。
⑥テニスとジョギング

無病息災

①田中　裕子
②昭和30年12月６日
③無病息災で仕事が出来る事
④●感染症問題（エボラ出血熱、デング熱、歯科用タービン問題etc）
●STAP細胞検証の行方
⑤●両親の介護　●自分自身の老後　●歯科医師としてのリタイア
⑥健康グッズを買い込み眺める事
（できれば愛犬２匹と毎日散歩する事が目標）

目指せ収入アップ

①川原　雄次
②昭和30年12月18日
③毎年毎年収入減、今年は持ち直して、少しでも収入アップしたい。
④繰り返す幼児虐待
⑤次男（高２）の大学受験と自分の年金
⑥スポーツクラブで毎日ランニングマシン30分、水中歩行30分

笑って１日を過ごす

①中嶋　敬介
②昭和30年
③健康に留意して、熊本県歯科医師会の務めを果すべく努力する。
④日本人３人のノーベル物理学賞受賞
⑤少子高齢化、人口減少社会にともなう歯科的対応について
⑥飲みすぎに注意する。笑って１日を過ごす

今までの生活を悔い改める

①岩崎　晃司
②昭和42年１月17日
③今までの生活を悔い改めて健康的に生きる。
④消費税が８％へ！しょうがない事なんだろうけど…
請求書の税額欄を見る度に胸が痛みます。
⑤子供が３人とも家を出て、早くも妻と２人だけの生活になったので何か共通の趣味を見つけたい。
⑥大好きなギャンブルでストレス発散！のはずが昨年は絶不調で逆にストレスたまりまくりでした。

前向きに生きて行こう

①濱坂　　上
②昭和42年１月24日
③前向きに生きていこうと思います。
④ＩＳＩＳなどのイスラム過激派のテロ活動
エボラ出血熱の世界的なパンデミック。
⑤中、韓との領土問題や、捏造された慰安婦問題の行方、盗まれた対馬の仏像は、戻ってくるのか？
消費税増税10％について。
⑥時間があれば、歩くようにしています。

欲の具現化行動

①園木　　誠
②昭和42年２月14日
③「欲」の自覚とその具現化行動
欲を表現することは古来あまりよろしくないという考えが、自己の成長のブレーキになっている気がする。
④地方県議号泣ニュースを見て、みんなで笑い物にしていることが…どうなのかな～という思いと、今世の人の心の懐具合が気になる。
⑤マスコミのウソ
「氏より育ち」現中韓の状況で育った外国の若者がどういう世界を築き導くのか？日本も「他山の石」としなければならない。
⑥胸を張る（手を後の腰あたりで組む）

ポジティブ思考

①前田　邦治
②昭和42年３月24日
③ポジティブ思考で生きる！
④地球変動（天災、火山活動、地震）
⑤世界、国内情勢
⑥呼吸法、１日２食！

何事にも温和丁寧に!!

①大塚　昭彦
②昭和42年４月30日
③何事にも温和丁寧に!!
④STAP細胞は残念な結果となっていますがあきらめずに是非みつけて欲しい。
⑤メンタルトレーニングでしょうか
⑥密かにやってる風呂での筋トレ！
毎朝、ヨーグルトドリンクを飲む！

健康で過ごす

①疋田　貴之
②昭和42年５月７日
③健康で、毎日を過ごすことが出来ればと思います。
④御嶽山の噴火などの自然災害
⑤子供の教育と地球温暖化
⑥好きな物を美味しく食べること。

診療スタイルの見直し

①前澤　　浩
②昭和42年５月９日
③急激におとろえてきた視力と体力にあわせた診療スタイルの見なおし
④消費税、川内原発
⑤アンチエイジング
⑥糖質制限、冷たいものを摂取しない。

少欲知足

①桐野　美孝
②昭和42年12月13日
③少欲知足
④国政選挙
⑤世界旅行
⑥腹八分目

禁煙チャレンジ

①松原　崇士
②昭和54年１月31日
③●プライベートでは２人目の子供が産まれるので、家族サービスを増やす。
●仕事ではＭＩに基づく治療と予防歯科を強化する。
④増え続ける、様々な自然災害と危険な犯罪
⑤36歳になるので、これからどういう生き方をしてどんな40歳を向かえるか。
⑥たくさん野菜を食べる、今年は運動を出来れば禁煙する。

適度な運動を習慣に

①宮崎　康弘
②昭和54年６月21日
③よく学び、よく遊び、仕事をがんばりたいと思います。
④ジーターの引退とマー君の活躍
⑤子供の成長
⑥今年こそは適度な運動を習慣にしたいと思います。

委員会報告

苦情対応のポイント

― 医療対策講演会 ―

医療対策

11月８日（土）午後４時から県歯会館４階ホールにて損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社医療リスクマネジメント事業部部長足立尚人氏を講師にお招きし「苦情対応のポイント」～さわやかな接遇を目指して～講演会が開催された。近年における医療訴訟の傾向、歯科医療における賠償事故の特徴について解説された後、具体的な事例を挙げて話があった。

スタッフも積極的参加

続いて苦情・クレームの対処の仕方について基本的な話があった。また不幸にして対処の仕方から医事紛争へなった例、ならなかった例を日常の受付業務で起こりがちなトラブルをとりあげて解りやすく説明された。そして実際に医療トラブルになったときの対処の仕方や再発防止について苦情発生背景要因の分析・その貴重な経験の活かし方について話があった。

足立講師による事例解説

最後に苦情対応のポイントは、誠実が基本であるが、時には毅然とした対応も必要と締めくくられた。九州歯科医学大会中に行われた講演会であったが、我々開業医にとって何時直面するか分からない患者からの苦情を具体的な事例を挙げた解りやすい解説であった。

事例を挙げた解りやすい解説

（医療対策　徳丸　恵介）

委員会報告

4県で意見交換

― 第17回近県歯科医師会社会保険担当者会議 ―

社会保険

11月23日（土）午後2時より、長崎県歯科医師会館で長崎県歯会主催にて、近県歯科医師会社会保険担当者会議が開催された。長崎県歯会徳富副会長の開会の辞に続き、長崎県歯会許斐会長、香川県歯会豊嶋会長、山口県歯会右田会長、熊本県歯会浦田会長より挨拶があり、慣例により座長に長崎県歯会井出理事が選出され、会議が進行した。

報告では、日歯社保委員会の小山委員より、最近の社会保険を取り巻く状況について説明があった。**平成26年度診療報酬改定の概要**について、①在宅歯科医療の推進等、②周術期における口腔機能の管理等、医療機関相互の連携、③生活の質に配慮した歯科医療の推進、④先進医療の保険導入、⑤新規医療技術の保険導入等、以上の項目について改定に至る議論も交えて解説があった。**今後の歯科医療の方向性**として、①歯科診療報酬における現状と課題、②次期診療報酬改定に向けての課題、③歯科診療のパラダイムシフト、以上の3項目に分けて、今後必要とされる作業工程について具体的な説明があった。協議では、各県から提出された38項目の議題について意見交換をした。

円滑な審査・指導への対応へ

各県とも、会員の目線に立って、円滑な審査・指導のために委員会活動をされていた。この会議で勉強した対応の仕方や情報を参考に、さらに会員に役に立つ委員会として、今後も努力をしていきたいと思う。

（社会保険　桐野　美孝）

委員会報告

ＤＶＤ研修講師がコメンテーターとして出席

― 日歯生涯研修ＤＶＤセミナー及び会員発表 ―

学術

11月30日（日）午前10時より県歯会館4階大中ホールにおいて「日歯生涯研修ＤＶＤセミナー及び会員発表が開催された。学術委員会園木学術委員の司会で牛島常務理事の開会の辞に始まり、日歯学術委員の立場から今後の生涯研修の在り方とその展望について説明があった。

午前の部は、生涯研修教材である「欠損補綴で診ること考えること～咬合を維持する補綴設計とその決め手～」のテーマで演者の、熊本市開業永田省蔵氏御本人がコメンテーターとして出席する中、下記内容でＤＶＤセミナーが行われた。

1　欠損歯列の捉え方と欠損補綴の処置

咬合（occlusion）と、咬合支持（occlusal support）の意味合い、「咬合」は歯牙接触状態、下顎位、偏心位ガイドのことなど、補綴修復処置の場面で用いられ、「咬合支持」はEichnerの分類、Cummerの分類など、顎位の崩壊度、すなわち欠損歯列のグレードを評価する指標として用いられる、との解説があった。

2　歯列に加わる力の要因と咬合の様相

パラファンクション、歯列咬合は正常だが異常な咬合力の影響を受けるものと、オルソファンクション、咬合力は正常だが異常な歯列咬合の影響を受けるもの、両者について、また作業側顎関節に悪影響を及ぼすD型ガイドについての対処法についても解説された。

3　欠損歯列と補綴設計への配慮

最後方咬合支持歯に集中する咬合力、ブリッジでは、たわみやせん断応力について、臼歯部に欠損が生じると歯列全体の崩壊が進み、最後方支台歯に智歯が残存している方が歯列全体の予後がいいこと、また残存歯の固定について、一次固定（セメント合着）と二次固定（テレスコープ義歯など、二重冠による固定）について解説され、長期経過を診ていく上での、二次固定法の優位性について述べられた。

4　欠損パターンに咬合の特徴やリスクを
～「咬合」と「咬合支持」からの捉え方～

下顎位のずれを診るには顆頭位を基点とした下顎位の診査が為されるべきで、アンテリアガイダンスを担う側方歯列群が喪失した場合、トリートメントレストレーションを用いて生体に調和のとれたガイドを模索し、欠損パターンに於いて、すれ違い咬合など補綴修復難症例では、インプラントや歯牙移植によって歯列配置を力学的に改変させることが有効であると述べた。また患者さんより可撤式義歯は敬遠される傾向にあるが長期経過を考慮したとき、歯牙の残存状態によっては可撤式の設計を取った方が有利な場合があると説いた。

斬新な研修形式で参加者多数であった

午後からは、熊本県内のスタディーグループ４団体の代表者による会員発表が行われ、

1「咬耗が著しいブラキサーに咬合再構成を行った１症例」
　あすか会 松原 明日香 氏
　（熊本市開業）

2「自家歯牙移植の再考」
　熊本ＳＪＣＤ 佐藤 俊一郎 氏
　（阿蘇市開業）

3「欠損歯列への対応～安定した状態を保つための欠損補綴～」
　ＦＣＤＣ 松永　久 氏（熊本市開業）

4「欠損補綴について～インプラントオーバーデンチャーを中心に考える」
　熊本矯正歯科研究会、熊本顎変形症研究会、地域医療連携歯科医の集い
　篠原 直幸 氏（伊東歯科口腔病院勤務）

以上４題の発表が行われ、それぞれのスタディーグループの紹介が為された後、オーバーレイトリートメントデンチャーを使用したケース、高いレベルの歯牙移植、各々の欠損グレードへの対応、インプラントアタッチメントを使用したケースなど興味深い報告が行われた。本研修はＤＶＤ研修講師の永田省蔵氏本人がコメンテーターとして各発表にもコメントを述べるという、斬新な形式で102名の参加者を集め盛会のうち終了した。

（学術　馬場　一英）

委員会報告

児童虐待を早期発見するために

― 学校歯科保健推進大会 ―

学校歯科

サインを見過ごさない

11月15日（土）午後３時より県歯会館４階ホールにて、学校歯科保健推進大会が開催された。浦田会長の挨拶後、神奈川歯科大学大学院災害医療歯科学講座法医歯科学の山田良広教授をお招きし『児童虐待の早期発見を可能にする法医学の知識』という演題で講演があった。

土曜日の午後にもかかわらず総数100名（歯科医師会員47名、スタッフ17名、その他一般・行政・学校関係者36名）の参加があった。

講演の内容は現在の事件解決には①防犯カメラ、②携帯電話（通話履歴、メールやLINE等）③DNA鑑定、この３つに頼っている。

へその緒からDNAを採取することが可能で、同じDNA型の一致率は４兆７千億に１人である。

法医学の基本は、外表所見を正確にとること。

傷の検査として上創端、下創端、創口（閉じて長さを測ることにより刃の幅が分かる。）創底等の情報で片刃等見極めることができる。

鑑定する場合保険適用ではないが、治療終了後のパノラマＸ線写真があると有効である。通常初診時撮影のものなので治療終了時と異なり判別が難しい場合がある。

歯科で発見が可能なのは、①身体的虐待と②ネグレクトの２つである。

①　身体的虐待の中にはたばこの火傷、前歯の脱臼、上唇小帯の傷（スプーン等で強制的に食べさせる際に傷ができる。）耳の根元の皮下出血（耳をつかんで振り回してできる。）

傷の治癒経過で傷の色が変わる。赤、青、緑等どれくらい経過したか想像できる。いろんな色の傷がある場合日常的に虐待があると考えられ注意する必要がある。

咬傷（バイトマーク）は欧米で多いがメジャー

早期報告で子供を守る

を置いて写真を撮ると犯人特定できる可能性がある。（歯型、歯牙の幅径、特徴等が分かるため）

②　ネグレクト（育児放棄、育児怠慢）に関しては、いろんなサインを見過ごさないで、学校関係者と話し健診で見つけてほしい。多数歯カリエスがある場合疑うことも必要である。

平成24年度における児童相談所の児童虐待の相談対応件数は、児童虐待防止法施行前（平成11年度）の5.7倍66,701件に増加、この数の増加の最大の要因は通告数の増加にある。児童虐待防止法では、学校教職員、児童福祉施設の職員、医師、保健師、弁護士等の児童虐待を発見しやすい立場にある者は、虐待の早期発見に向けた努力義務が課せられ、同時に早期通告義務が課せられた。

「虐待と思って報告し実際違ったらどうしよう？」「自分が報告して名前等ばれたらどうしよう？」と心配される方が多いが実際名前は出ませんし、「間違っても罪に問われることもありませんので疑わしいときは早期報告してほしい」ということであった。児童相談所、もしくは最寄りの警察を事前に確認しておくことをお勧めいたします。

県歯ホームページの会員専用ページの中にある学校歯科委員会を開いていただくと「子どもへの虐待と、学校歯科医の役割」のスライド（パワーポイントファイル）がありますのでご参考に閲覧ください。

（学校歯科　宇治　信博）

人吉市歯科医師会

介護者への口腔ケア

— 学術研修会 —

11月７日（金）午後７時より熊本県球磨地域振興局２階大講堂にて、人吉市歯科医師会学術研修会を特別養護老人ホーム矢筈荘歯科衛生士奥村三利子氏をお迎えし開催した。

本会は歯科医師会内の研修会ではあるが、地域連携をも目的として、人吉球磨地域医療保健福祉活動ネットワーク「FANの会」の協賛をいただき熊本までなかなか研修会に参加できない方々、介護関係者にも参加を呼び掛け開催した。歯科医師会関係者45名、保健所、包括支援センターを含む介護関係者100名、FANの会関係者、合計150名の参加者で、大きな会場をいっぱいにして、研修会が始まった。

会長開会の挨拶の後講演が始まった。奥村氏によると矢筈荘は施設の中で口腔ケアを徹底されている事で有名で、日頃から口腔ケアを、食べる・話す・呼吸する・表情を作るのみならず、生命の維持の為・話しやすくなり表情が明るくなるなど、生きる楽しみの為にと考えて行なっているとの話から始まった。沢山の施設での貴重な写真を交え要介護者のお口の問題点を挙げ、その対応方法を丁寧に説明された。

症例の中の１つで、舌苔が多く付着し舌が硬直してしまった患者さんが、食事不可能と判断されたが、舌苔を徹底して除去し保湿をするケアを徹底的に行うことで舌が動くようになりシッカリと味わって食事を取る事が出来、結果体重も改善し介護度が改善した事をお話しされた時

要介護者への対応を丁寧に説明

には多くの驚きの声が上がった。モデルを使い認知症の方々へのケアの方法、噛みつかれたり喰いしばられてケアのしにくい方々への対応の仕方なども、丁寧に話があった。

多くの介護者にお口の中にも関心を持っていただき、口腔を診わける事が出来る方が増えること、又その方々に対して歯科衛生士によるプロフェッショナルケアを行う事の大切さを１時間半にわたって熱く時には球磨弁を交えながらお話しいただいた。

副会長の謝辞の後、会場いっぱいの大きな感謝の拍手で閉会となった。

（今藤ひとみ）

郡市会報告

玉名郡市歯科医師会

より安心・安全な治療を！

― 医療対策研修会 ―

12月４日（木）午後７時30分より玉名文化センターにおいて県歯医療対策委員会の冨屋理事を招いて「医療苦情・医療事故の実情と対応」という演題で実際の20数個の実例を分かり易く説明された。

25年度の医療苦情件数は177件でありその内の上位３つ「歯科医院の対応、態度」、「説明不足」、「料金問題」を私達がクリアすれば苦情相談も半分以下に激減するだろうと冒頭に言われた。また高齢の患者さんには毎回、何度も治療の度ごとに内容説明や術後の不快症状（抜髄後の咬合痛や形成、セット後の冷温痛など）の説明の必要性も言われた。また「歯科医師と患者様の相互の信頼関係が出来て初めて診療が可能！」という事を理事自身に起こった実例を挙げ説明があった。

真剣に冨屋理事の話に耳を傾ける会員

玉名郡市では毎年この時期に医療対策の講演を行っているが、その度に会員は初心に帰り身が引き締まり、明日から患者様と信頼関係を築き、ますます安心・安全な治療、臨床を行うと痛感したはずである。

（春野　惟一）

八代歯科医師会

救急患者の受け入れに貢献

― 救急医療功労者厚生労働大臣表彰 ―

八代歯科医師会口腔保健センターが、早くから休日に救急歯科診療を開始し、救急患者の受け入れに貢献したとして、平成26年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞した。

これに伴い９月９日に厚生労働大臣中央合同庁舎において授賞式が行われ、今年度は２団体、13医療機関、個人12名が表彰を受け、塩崎厚生

労働大臣の挨拶の後、各団体の総代に表彰状が授与された。

当口腔保健センターは、平成10年８月に開設し、会員の輪番制で休日診療を行い、今年で16年目になる。この受賞を糧に、会員の協力のもと地域住民のため、更に充実した休日歯科診療に努めていきたい。

（熊埜御堂　誠）

九州連合チーム連覇成る

― 第３回全国歯科医師会野球大会 ―

11月23(日)、24日(月) の２日間、第３回大会が東京の大井運動公園グランド３球場、太田スタジアムで開催された。昨年は劇的なサヨナラホームランで優勝し、九州連合にとっては連覇のかかる大会であった。全国を12ブロックに分け、各ブロックを勝ち抜いたチーム（地区の補強可）と、各地区の選抜チーム。九州は各県３～４名の選手が選出された。本県からは、千場、上田、鬼塚、田中の４人が大会に出場した。

予選リーグ

12チームを１、２、３、４パートに分け、１パートに３チームその中で成績によって１チームだけ準決勝に進出する方式である。

九州は第３パートに入り、四国連合、岩手選抜と対戦した。成績は、初戦四国連合に16－０（５回コールド）完封勝ち。岩手に６－２で連勝した。岩手とは、昨年の決勝戦で大接戦、サヨナラホームランで逆転勝利したチームであったが、今回はエース井上（長崎）の好投。打線も本県の３番田中が３打数２安打、３回には試合を決める２ランホームランを放った。

対岩手戦２ランホームランを打った田中選手

準決勝

準決勝の相手は千葉選抜チーム。

千葉選抜には第一回大会で11－１で勝利していたが今年は補強選手が入り、チーム力も充実していた。立ち上りは互角の試合展開であったが、九州のエース井上（長崎）の豪速球が相手打線を寄せつけない、６－２での勝利。

井上投手の投打にわたる活躍が光った。

決　勝

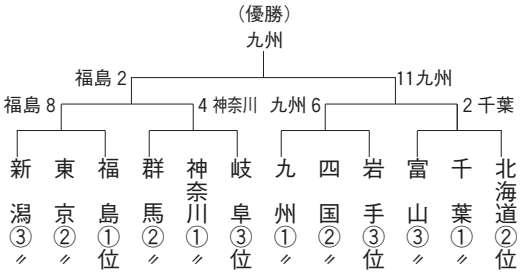
決勝の相手は東北代表の福島選抜チーム。

昨年は一回戦で対戦し、１－０の大接戦であった。しかし今年は、九州チームも気合が入り、投打に圧倒、11－２の大差で優勝、大会２連覇を決めた。大会前から、九州が大本命といわれていた。今回で３年目になる大会であったが、これで九州選抜チームは、10連勝を成しとげた。

連勝がどこまで続くのかは分らないけど、今の時点では、他の地区とは少し差があるように思える。九州には130キロ近い豪速球を投げる井上投手がいる。そして又、強力打線が控えている。投打が充実し、負ける要素がないような気がする。九州強し!!の声を強く感じる大会でもあった。　　（千場　正昭）

～決　勝～

	1	2	3	4	5	6	7	計
福 島	1	0	0	0	0	1	0	2
九 州	3	0	1	5	2	0	×	11



訃　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

工藤　喜孝 先生
平成26年12月３日　ご逝去　97歳

- 郡　市　名：玉名郡市
- 入会年月日：昭和17年６月20日

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることは何ですか。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員

西坂　　文
（ニシザカ　アヤ）

八代市長田町2902-1

Aya Dental House

①生きる意欲をもったたくましい子供に育つために歯科医師としてどうかかわることができるか。
②患者さんが健康で豊かな人生を送るための手助けとなれるような歯科診療
③「食べる」ことに特に視点をおき、赤ちゃんから高齢者まで積極的に食支援を行っていきたいと思っています。
④自分自身の技術・知識の向上をはかり、少しでも地域の皆様に還元したいと思っています。

第２種会員

坂口　　賢
（サカグチ　サトシ）

玉名市中1906-12

坂口歯科医院

①人として歯科医師として成長すること
②患者さんの期待を上回る治療（治療の質、スピード、分かりやすい説明など）自分もスタッフも、皆と協力して働くことで楽しみとやり甲斐を感じられる歯科診療。
③患者さんとの会話を重視した治療、メンテナンスを行っています。患者さんとの挨拶と笑顔はいつも絶えません。子供も笑って診療室に入ってきて、時には走り回っている？明るい雰囲気の歯科医院です。
④父の跡を継ぎ、昔ながらの良いところも残しつつ新しいものを取り入れていきたいと思っています。
成長したいのは知識・技術だけでなく、自分の仕事に対する信念や他人への思いやりの心もです。

H.27.1

会　務　報　告

自　平成26年11月21日
至　平成26年12月18日

会務報告

所管	日付	摘要	出席
総　務	11月22日	九州各県事務職員研修会（第１日目）（福岡県歯会館）	澤田事務局長他４名
	23日	九州各県事務職員研修会（第２日目）（福岡県歯会館）	澤田事務局長他４名
	26日	都道府県事務長事務連絡会（日歯会館）	澤田事務局長
		九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本市国際交流会館）	中嶋副会長
		第18回理事会 【承認事項】（１）新入会員の承認（２）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼 （３）名義後援使用依頼　ほか 【議題】（１）熊本市より子ども医療費助成制度に係る市外医療機関への「現物支給」手続きの推奨（２）医療・介護サービス提供体制改革（財政支援制度）のアイデア調査票 （３）規則の一部改正案　ほか 【協議事項】（１）県外出張旅費の見直し（２）会員への発送回数の見直し及び会員発送物の中の県歯発刊文書のペーパレス化	浦田会長他牛島常務理事を除く全役員、伊藤学院長
	27日	県医療安全推進協議会（県庁）	渡辺専務理事
		熊本地裁・簡易裁判所調停委員勉強会（熊本地方裁判所）	前野会員
	28日	職員人事評価打合せ	渡辺専務理事、八木・牛島常務理事
	29日	月次監査 10月末現況	久々山・西野監事
		県歯野球部納会（熊本市）	小島副会長
	12月２日	副会長会議	浦田会長、小島・中嶋・宮坂副会長、渡辺専務理事
		第34回常務理事会 （１）会長の郡市間異動の承認（２）新入会員研修会日程（案） （３）定款規則集の作成　ほか	浦田会長他田上常務理事を除く常務理事以上全役員
	３日	第３回県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会保健福祉推進部会（KKRホテル熊本）	小島副会長
		県医療・保健・福祉連携学会第３回企画委員会	小島副会長
	６日	「九州」「中国・四国」地区役員連絡協議会（ザウランパレス新阪急高知）	浦田会長、小嶋副会長、渡辺専務理事、八木常務理事、澤田事務局長
		神奈川歯科大学同窓会県支部忘年会（熊本市）	田上常務理事
	７日	がん医療ネットワークナビゲーター教育研修セミナーin熊本（くまもと県民交流館パレア）	牛島常務理事
		県がん診療連携協議会セミナー県民公開講座（くまもと県民交流館パレア） 知って得するがんのはなしと「私のカルテ」	牛島常務理事
		故工藤喜孝（玉名郡市）告別式弔辞奉呈（玉名市）	宮坂副会長
	８日	第６回諸規則・規則改正検討臨時委員会	荒木委員長他全委員
	10日	職員冬季賞与支給式	小島副会長
		損保ジャパン日本興亜熊本支店長との面談（東京）	浦田会長
		県体育協会第２回財務特別員会（ホテル熊本テルサ）	澤田事務局長
	11日	第１回県歯科技工士国家誌面委員会（県庁）	牛島常務理事、井上理事、堀川委員長、片山副委員長
	13日	第30回県警察医会研修会（県警本部）	浦田会長
		鹿児島大学歯学部同窓会県支部忘年会（熊本市）	渡辺専務理事、八木常務理事
		九州歯科大学県同窓会忘年会（熊本市）	浦田会長
	15日	第３回選挙管理委員会	三隅委員長他全委員、渡辺専務理事、八木・牛島常務理事
	16日	損保ジャパン日本興亜との懇談会（熊本市）	浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、牛島常務理事、澤田事務局長
	17日	第35回常務理事会 （１）新入会員の承認（２）名義後援使用依頼（３）熊本市より子ども医療費助成制度に係る市外医療機関への「現物支給」に係る会員への通知　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員
		くま歯キャラバン隊（天草郡市）（ホテルサンロード）	田中理事
学　術	11月21日	学術委員会 （１）日歯生涯研修DVDセミナー及び会員発表（２）H27年度事業計画 （３）ＢＰ製剤投与	井上理事他全委員
	26日	日歯学術・生涯研修委員会（日歯会館）	牛島常務理事
	30日	日歯生涯研修DVDセミナー及び会員発表 発表者：102名 発表者：松原明日香会員（熊本市）佐藤俊一郎会員（阿蘇郡市）松永　久会員（熊本市）、篠原直幸会員（熊本市）	牛島常務理事、井上理事他５委員
社会保険	11月23日	近県社会保険担当者会議（長崎県歯会館）	浦田会長、中嶋副会長、田中・椿理事、桐野・橋本副委員長
	27日	保険集団的個別指導（KKRホテル熊本）	浦田会長
	29日	社会保険個別相談会　相談者：３名	田中理事、橋本委員長他５委員
		社会保険委員会 （１）会員向け発行物（２）指導立会者・個別相談会日程	田中理事、荒木委員長他９委員
	12月５日	レセプトチェックセンター（荒尾市） 相談者：２名	田中理事
		社会保険個別相談会（荒尾市）相談者：１名	桐野副委員長
	６日	社会保険個別相談会（八代市）相談者：１名	山口委員
	11日	保険個別指導（KKRホテル熊本）	橋本副委員長、南・渡辺委員

所管	日付	摘要	出席
地域保健	11月22日	笑顔ヘルＣキャンペーン無料歯科相談〔八代〕（やつしろハーモニーホール）	八代歯会会員
	28日	笑顔ヘルＣキャンペーン反省会 （１）笑顔ヘルＣキャンペーン中央イベント	加藤理事、城副委員長、蔵本委員
	29日	大分県歯会妊婦歯科保健公開講座（大分県歯会館）	田上常務理事
	12月４日	全国健康保険協会・熊本支部との打ち合わせ（全国健康保険協会熊本支部） （１）スモールチェンジ・生活歯援プログラム打合せ	二宮委員
広　　報	11月21日	広報小委員会 （１）会報12月号・第１回校正	加藤理事、佐藤委員長他３委員
	12月１日	広報小委員会 （１）会報12月号・第２回校正	加藤理事、佐藤委員長他１委員
	15日	広報小委員会 （１）会報１月号・編集	加藤理事、佐藤委員長他３委員
	16日	テレメッセ打合せ （１）１月29日（木）放送分	加藤理事
学校歯科	11月27日	歯及び口腔の健康づくり指導（豊水小学校） 豊水小学校フッ化物洗口保護者説明会	大林理事
	28日	「歯・口の健康づくり研究推進校」研究発表会（武蔵ヶ丘北小学校）	菊池郡市・宮川会長
		県健康教育推進学校表彰審査会	宮坂副会長
	29日	歯及び口腔の健康づくり指導（両併小学校） 両併小学校育友会全大会	宇治委員
	12月５日	歯及び口腔の健康づくり指導（阿蘇小学校） 阿蘇小学校フッ化物洗口実施に係る保護者向け説明会	田上常務理事
	18日	県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	西野監事
医療対策	12月４日	玉名郡市医療対策研修会（玉名文化センター）	冨屋理事
センター･介護	11月26日	第１回県各圏域地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会（くまもと県民交流館パレア）	松本理事
	27日	県庁との打ち合わせ （１）障がい者受け入れアンケート（２）障がい者受入可能診療所の推移（３）委託事業	松本理事
	29日	センターカルテ・会計チェック	松岡センター長
	12月１日	県庁との新財政基金の打ち合わせ （１）荒尾市歯会と県庁・県歯打ち合わせの開催（２）財政支援制度についてのアイデア・検討	宮坂副会長、松本理事
	２日	在宅医療連携体制検討協議会（ホテル熊本テルサ）	松本理事
	４日	センター・介護小委員会 （１）12月６・７日研修会（２）アンケート作成	松本理事、平井委員長他１委員
	６日	第２回在宅歯科医療研修会（学院校舎） “食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか” －摂食嚥下障害に対する診断、治療法－ 受講者：40名	宮坂副会長、松本理事他６委員、県歯科衛生士会太田氏、山田氏
	７日	第３回在宅歯科医療研修会（学院校舎） “食べることに問題のある患者に歯科は何ができるのか” －摂食嚥下障害に対する診断、治療法－ 受講者：39名	宮坂副会長、松本理事他６委員、県歯科衛生士会太田氏、山田氏
	13日	障がい者施設健診事前打ち合わせ（児童デイサービスセンターわいわいなかま）	井手委員
	15日	県庁と新財政支援制度（基金）打ち合わせ （１）荒尾市歯会と県庁・県歯打ち合わせの開催（２）財政支援制度についてのアイデア・検討	宮坂副会長、松本理事、荒尾市歯会・山本会長、田中専務理事
	17日	口腔保健センター管理運営委員会	浦田会長他中嶋副会長を除く常務理事以上全役員、松岡センター長、松本理事
総務･厚生･医療管理	11月21日	がん連携運営説明会（熊本再春荘病院）	小島副会長、牛島常務理事
	12月６日	八代歯科医師会共催医療管理講演会（八代市医師会） ブラッシュアップマナーセミナー 受講者：61名 講師：伊藤けい子先生	牛島常務理事、池嶋委員長他２委員、八代歯会・鶴田理事、清藤会員
	10日	総務・厚生・医療管理委員会 （１）医療管理だより（２）社会歯科学研究会（３）医療管理講演会	牛島常務理事、池嶋委員長他全委員
	13日	医療法人社団鶴友会医局忘年会（熊本市）	牛島常務理事
	16日	県がん診療連携協議会第22回相談支援・情報連係部会（熊大医学部附属病院）	牛島常務理事
	17日	がん連携運営説明会（公立玉名中央病院）	牛島常務理事、玉名歯会・森会長
学　　院	11月23日	熊歯衛祭（学院文化祭）（学院校舎）	伊藤学院長他２名
	12月12日	学院臨床実習場反省会 歯科医師18名、歯科衛生士31名	浦田会長、伊藤学院長他６名
	15日	学院解剖学見学実習（福岡歯科大学） ２年生53名福岡歯科大学	伊藤学院長他２名
国保組合	11月28日	第４回国保理事会 （１）規約の一部改正（案）（２）カードプリンターの入替え	浦田理事長他全役員
	12月５日	全協九州支部事務研修会	澤田事務局長他３名
	12日	第２回医療保険者等における番号制度導入に関する説明会（福岡商工会議所）	田代課長補佐

お知らせ

平成26年度臨時代議員会　開催のお知らせ

下記の通り平成26年度臨時代議員会を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時：平成27年３月28日（土）午後３時～
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

［議　事］

第１号議案　平成26年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案）の承認を求める件
第２号議案　平成27年度熊本県歯科医師会事業計画（案）の承認を求める件
第３号議案　平成27年度熊本県歯科医師会会費及び負担金の賦課額、賦課率並びにその徴収方法（案）の承認を求める件
第４号議案　平成27年度熊本県歯科医師会会計収支予算書（案）の承認を求める件
第５号議案　一般社団法人熊本県歯科医師会定款並びに諸規則及び学則の一部改正（案）の承認を求める件

［協　議］

１　時局対策について
２　その他

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、会議場後方に席を用意してありますので、ご来場下さい。

平成26年度会員懇談会　開催のお知らせ

本会の会務運営・事業計画・予算等の報告並びに会員の皆様のご意見をお聞きするために標記集会を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時：平成27年３月28日（土）午後５時開催予定（臨時代議員会終了後）
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

会員専用グループ保険のご案内

随時加入募集中!!

グループ保険　Ⅰ 団体定期保険　Ⅱ 新医療保障保険団体型

Ⅰ 団体定期保険

充実した保障内容
合理的な 死亡保障 の確保に！

① 割安な保険料で高額保障
災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます。

② 高度障害保険金･障害給付金も準備されます

③ 最高 75歳まで継続更新可能

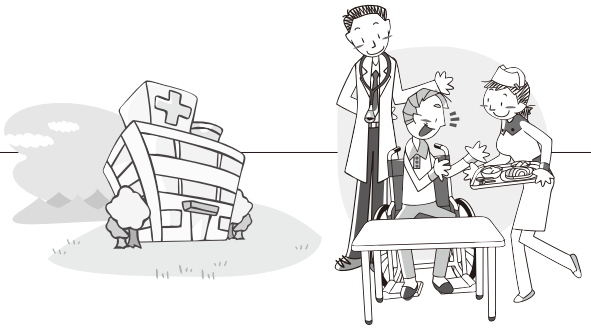
④ 入院給付金（傷害のみ）の保障もあり

35年以上の長期にわたり、熊本県歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

随時加入できます

Ⅱ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が
低価格でプラスできます！



① 疾病・傷害、いずれも保障の対象！

② 入院給付金は１日目からお支払します

③ 通算 1,000日分の入院給付金のお支払（１入院は60日まで）

④ 最高89歳まで継続更新可能

⑤ 配偶者･お子様もご加入可能

この保険は当グループ内で１年ごとに収支計算を行ない剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元しています。

お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局　担当：田尻　TEL096-343-8020

KAI

特許：第4988969号

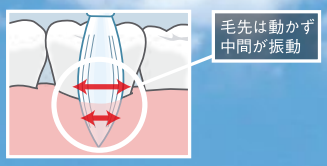
名称：電動歯ブラシ用歯周ポケット内気泡発生アタッチメントブラシ

略して『ホップブラシ』

電動歯ブラシの先の小さなアタッチメント。プロ用の小さなこのブラシが、私たちの発明品『ホップブラシ』です。これまで困難だった歯周ポケットの奥に潜む嫌気性菌を破壊する、そのための最終兵器。市販の電動歯ブラシを使い、歯肉を痛めず、知覚過敏にも優しい。患者さまではなくプロの歯科医や歯科衛生士が使うことで、あなたのオフィスでまったく新しいペリオコントロールができるようになります。大切なQOL向上は想像以上。しかもコストは最小です。新発売『ホップブラシ』。小さなこのブラシがあなたの患者さまを救います。

今お持ちの電動歯ブラシで使えます。

市販の電動歯ブラシのアタッチメントブラシです。通常のブラシと差し替えてお使いください（GC社に対応予定）。また、新しい技法や薬剤は必要ありません。すぐに使えて役に立つ。それがホップブラシです。



毛先を使わないから、歯肉を痛めない。

毛先ではなくブラシの中ほどを使いプラークを撹拌。
バイオフィルムを破壊し嫌気性菌と空気をブレンドします。
毛先が動かないので、歯肉を痛めず、知覚過敏にも優しい治療ができます。

2015年 3月中旬、発売予定

詳しい原理・仕組みはこちら　ホップブラシ　KAI　検索

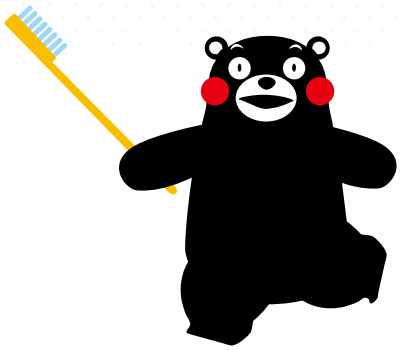
株式会社 KAI　〒861-5253　熊本市南区八分字町3117-1　TEL.096-227-6231　FAX.096-227-2398

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
January 2015 No.705

8020 歯からはじめる 笑顔ヘルC

2 行事予定 February

1日(日)	第8回県医療・保健・福祉連携学会
3日(火)	第38回常務理事会
7日(土)	社会歯科学研究会冬期研修会(第1日目)
8日(日)	社会歯科学研究会冬期研修会(第2日目)
17日(火)	第39回常務理事会
25日(水)	第21回理事会



くまもとサプライズキャラクター『くまモン』
©2010 熊本県くまモン #1086

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

編集後記

明けましておめでとうございます。

2014年も瞬く間に過ぎ去りまた新しい年が始まりました。「歳を取ると時間が早く過ぎる」とは良く言われることですが、人生の3分の2を既に消費した私自身、最近その事を痛切に感じるようになりました。果たしてそれが錯覚なのかそうでないのか興味が湧き、ネットで検索してみると予想以上に多くの心理学的な説明や理論が見つかりビックリ!やはり誰もが経験し困惑する事象みたいですね。たとえば、ジャネーの法則～「生涯のある時期における心理的時間の長さは年齢に反比例する」これによると5歳の頃の1年間は50歳の人間にとっての10年間に相当するのだそうです。また、その他の仮説をまとめて簡単に言うと、「年少の頃は初めてとなる印象的な出来事が多く、新鮮な驚きに満ちているため、はっきり時間認識をする機会が増え、その結果として時間が長く感じられる。それが大人になるにつれ日々は単調になり、新しい感動も少なくなるため時が早く過ぎてしまう」というものでした。確かに小学生の頃の夏休みなんて永遠とも思える長さだったもんなあ、と独り納得したのでした。

つまり、どんなに年齢を重ねても常に新たな事に挑戦したり、新しい刺激を取り入れるようにすれば時間の感じ方を遅くすることができるということ。充実感や満足感をしっかりと実感できる、そんな生活を送っていれば、年齢に関係なく時間は平等に流れるのかもしれません。あっという間に過ぎていく時間。後で人生を振り返った時に後悔しないようにしたいものですね。

(I・K)

■発行日／2015年1月15日発行 ■発行人／浦田 健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020 FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷